



設立趣旨

CBGM こども財団は、こどもたちを巡る貧困、虐待、いじめ、孤立などの課題解決ならびに教育、芸術文化などの振興・支援に取り組んでいる諸団体への助成・寄付等を目的として設立されました。環境問題や教育格差、自然災害など、不安定要因が増す中で、社会が健全な発展を続けていくためには、こどもたちが健やかに成長し、幾多の困難を克服して未来を切り開いていくことの支援が重要であるとの認識の下に活動を推進しています。



©Naomi Kojima

財団設立の趣旨にもありますように、私たちは財団の活動を通して「こどもたちの健やかな成長」に寄与していくことを目的としています。CBGM こども財団の目指す「こどもの健やかな成長」を、心、体、環境・社会の3つの側面から、具体的にどのような状態なのかを皆様と一緒に考えていきたいと思っております。

心が健やかである

- 人を思いやれる
- 熱中できるものがある
- ひとりの人間として尊重されている
- 感動できる
- 夢が持てる
- 意思決定ができ、またその決定が尊重される

体が健やかである

- 適度な運動をしている
- 必要な栄養がとれる
- 十分な睡眠が得られる
- 安全・新鮮・旬なものを食べることができる

こどもたちの健やかな成長を支える環境・社会

- 経済的(低所得・家庭内貧困)な不安がない
- 家庭、学校、地域の繋がりがあ
- 虐待(身体的・心理的・性的虐待、ネグレクト)がない
- 教育が受けられる
- 清潔な環境で生活できる
- 相談できる人・場所があり、必要なサポートが受けられる
- 必要な医療が受けられる
- ヒト・コト・モノとのたくさんの出会いがある

子どもを取り巻く問題は、今なお多くあり、より深刻化しています。わたしたちは、一人ひとりの子どもを取り巻く課題に向き合い、子どもに寄り添った支援に取り組む団体をサポートできるよう、尽力してまいります。あわせて、皆さまのご意見や追加案を頂戴できたらと存じます。ぜひ、CBGMこども財団メールアドレスまで、お寄せください。

メールアドレス：cbgm-kodomozaidan@cbgm.co.jp

2024年度 第3回助成事業募集を開始しました

2024年4月1日より、第3回助成事業を開始いたしました。2024年度の助成金は、総額2,000万円、1件200万円以内です。応募対象は、東京都内に登記のあるNPO法人等で、こどもたちを巡る貧困、虐待などの課題解決や、教育、芸術文化などの振興・支援に関係する事業です。財団の主旨に賛同し、助成事業募集に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、CBGMこども財団事務局へご紹介のほど、よろしくお願いいたします。

助成先活動報告 1

「特定非営利活動法人子どもと文化全国フォーラム」 離島・僻地での舞台芸術鑑賞&ワークショップ事業

子どもと文化全国フォーラム様は、日本中すべての子どもたちに文化権の保障を!をミッションに、あそび・芸術文化体験のアクセスチャンスをつくる活動等に取り組んでいる団体です。今回の助成事業では、子どもの芸術文化の体験格差をなくすことを目的に、離島・僻地での舞台芸術鑑賞&ワークショップ「江戸糸あやつり人形」(開催地:新潟県上越・十日町・角田)、「大藏吉次郎狂言(演目:昆布売り)」(開催地:新潟県佐渡・三条)を開催し、計248名(子ども82名、大人166名)に鑑賞いただきました。鑑賞者からは、古典芸能の鑑賞の素晴らしさに感動するとともに、日本文化継承の重要性を再認識したという声も多かったようです。

舞台芸術鑑賞&ワークショップは、舞台を鑑賞するだけでなく、演者と一緒に人形を動かしたり、狂言の動きや声出しをしたりと「表現する」ことをあわせて体験できるよう、設計されています。演者は、その芸の第一人者というだけでなく、子どもやその芸に知見のない大人も楽しめるような工夫ができる人に拘りを持って選出しています。子どもが楽しめることはもちろん、大人にも感動してもらえることを大事にしているとのこと。代表理事の森本様は、「子どもの感性を育てるためには、大人がその必要性を知ることが重要。大人が文化的・芸術的な体験活動の有用性を理解できないと、なかなか子どもにその機会を創ろうとはならない」、また「芸術文化体験との出会いは、子どもが夢・希望を持って、豊かに成長していくためには欠かせない。どこに住んでいても同じような機会が得られる世の中にしていきたい」とお話されていました。



参加者の声

なかなか見れないものを見せて頂き、ありがとうございました。人形のしぐさと細やかな手の動きにただただ驚くばかりでした。

by 江戸糸あやつり人形 鑑賞者

大勢で、楽しめました。久しぶりに思いっきり大きな声を出したり、笑ったりしました。

by 大藏吉次郎狂言 鑑賞者

ちょうは、かんたんそうにみえたけど、むずかしかったです。

by 江戸糸あやつり人形
鑑賞者7歳

今回の助成活動は「日本の伝統芸能」を体験し、日本文化を知る良い機会となりました。財団の目指す「こどもたちの健やかな成長」には、新しい体験がかかせません。美しさや楽しさを知り、豊かな感性を持つことで、「子どもの可能性を広げるきっかけになればと思います。

助成先活動報告 2

「特定非営利活動法人 3keys(スリーキーズ)」 10代向け支援サービス検索・相談サイト「Mex(ミークス)の改修」

3 keys(スリーキーズ)様は、2016年から10代向け支援サービス検索・相談サイト「Mex(ミークス)」を運営しています。「Mex」は、虐待・貧困といった様々な悩みを抱えた10代の子どもたちを対象に、悩みの解消・軽減に役立つコラムを閲覧する、また、自分で相談窓口を探し繋がることのできる「支援サービス検索・相談サイト」です。厳しい状況におかれている子どもたちの多くが、周囲の大人よりもインターネットに頼る傾向にあります。その一方で、インターネット上には子どもたちが安全に使用できる環境が整備されていません。また、支援機関情報をまとめているサイトはあるものの、子ども向けの情報が少なかったり、子どもにとっては難しい言葉を使用していたり、適切な支援機関と繋がるのが難しいのが現実です。「Mex」は、子どもが検索時に使用する「ワード」を精査し、適正な情報にたどり着けるようにする工夫や、支援機関に関しては徹底した審査を行い、クリアした団体のみを掲載し、安心して子どもが支援を受けられる環境を整備しています。



3 keys様には、第1回助成事業において「Mex」のサイトリニューアル、今回は、より「Mex」にたどり着きやすくするための広告活用費用等に助成をしています。できるだけ多くの子どもに適切なタイミングで「Mex」を知ってもらうためには、「Google 広告【Google Ad Grants (グーグルアドグランツ) *】」や SNS 広告の活用がかかせません。近年「Google Analytics」の仕様変更があり、「Google 広告」が十分に活用できておらず、「Mex」の利用者が減少しているとのこと。代表の森山様は、「子どものための広告運用はとても難しく、ノウハウをもっている会社も少ない。将来的には、自分たちで広告出稿していきたいが、まだまだノウハウが十分ではない。この助成をきっかけに、その体制を作っていきたい」と話してくださいました。

本当に困っている子どもは、声を上げるのが難しく、困っていても「大丈夫」と言い、更には相談しないといけなような状況であることにさえ、気づけないケースも多いとのこと。「Mex」は、子どものためのサイトであり、子どもに寄り添って作られています。このサイトが必要な子どもに発見してもらえることで、問題解決の一助になればと思います。

* Google Ad Grantsとは：Googleが提供している NPO団体向けの無料広告プラン。NPO法人であれば、Googleリスティング広告として利用できる費用を、毎月最大\$10,000まで無料で受け取ることができます。このプログラムを活用することで、非営利団体は効率的にプロモーション施策を行い、日々の活動を促進させることができます。